

## 主な変体仮名関係の参考文献

児玉幸多編『くずし字解読辞典 付・かなもじの解読』

1970 初版、近藤出版社。1993 以降・東京堂出版

山田奨治・柴山守編『くずし字解読用例辞典』2007、東京堂出版 HY 版(CD-ROM 版)

中野三敏 古文書入門シリーズ

『くずし字で「東海道膝栗毛」を楽しむ』2011、角川学芸出版

『くずし字で「百人一首」を楽しむ』2010、角川学芸出版

『くずし字で「おくのほそ道」を楽しむ』2011、角川学芸出版

『くずし字で「徒然草」を楽しむ』2013、角川学芸出版

中野 幸一『変体仮名の手引 改訂増補 25 版』2009、武蔵野書院

かな研究会『活字本教科書 実用変体がな』1988、新典社

笠間影印叢刊行会

『字典かな一出典明記 改訂版』1972、笠間書院

『字典かな一写本をよむ楽しみ 新装版』2003、笠間書院

武井和人『日本古典くずし字読解演習』2010、笠間書院

伊知地鉄男『変体文字集成』1972、新生社

祐野隆三『変体かな字典』1987、おうふう

井上蒼雨『変体仮名と連綿の独習』2010、知道出版

兼築信行

『一週間で読めるくずし字 古今集・新古今集』2006、淡交社

『一週間で読めるくずし字 伊勢物語』2006、淡交社

西田正巳『江戸のくずし字学習図鑑』2011、東洋書店

菅野俊輔『書いておぼえる江戸のくずし字いろは入門』2006、柏書房

佐野 光一編『改訂 草書の覚えかた』2006、天来書院

板倉聖宣『変体仮名とその覚え方』2008、仮説社

茨木正子『これでわかる仮名の成り立ち』2007、友月書房

### 主な字典類

法書会『五体字類』1925、西東書房

伏見冲敬『角川書道字典』1977

波多野幸彦『近世くずし字辞典』2000、思文閣出版

若尾俊平『近世古文書解読字典』1972、柏書房

林 英夫『音訓引き古文書字典』2004、柏書房

中田易直他編『用例かな大字典』1978、柏書房

根岸茂夫・佐藤孝之・安池尋幸新編『古文書解読字典』1993、柏書房

清水透石『かな表現字典』1999、二玄社

井茂圭洞『かな字典』1991、二玄社

筒井茂徳編『かな名跡大字典』1981、角川書店

竹田悦堂監修『かな連綿字典』1990-92、雄山閣出版

## ウェブページ

立命館大学 Art Research Center [「くずし字解読支援システム」](#) 要登録

東京大学史料編纂所 [「電子くずし字字典データベース」](#)

明朝体風のフォント [Koin 変体仮名](#)

## 主な論著

- 池田亀鑑(1941)『古典の批判的処置に関する研究』岩波書店
- 内田宗一(1998)「黄表紙・洒落本の仮名字体——恋川春町自筆板下本についての比較考察——」  
『国語文字史の研究』四 前田富祺・国語文字史研究会編 和泉書院
- 内田宗一(1998)「『修紫田舎源氏』の仮名字体——作者自筆校本と板本の比較考察——」『待兼山  
論叢』第32号 大阪大学文学部
- 内田宗一(1998)「柳亭種彦自筆資料の仮名字体——草双紙稿本を中心に——」『語文』第71号 大阪  
大学文学部国文学研究室
- 内田宗一(2000)「馬琴作合巻『金毘羅船利生纜』の仮名字体——筆耕による表記の改変をめぐって  
——」『国語文字史の研究』五 前田富祺・国語文字史研究会編 和泉書院
- 内田宗一(2001)「『古事記伝』の仮名字体——訓仮名出自字体の忌避とその背景——」『国語文字史の  
研究』六 前田富祺・国語文字史研究会編 和泉書院
- 内田宗一(2010)「賀茂真淵著作における仮名字体使用に関する考察——訓仮名出自字体の忌避を  
めぐって——」『語文』第92・93集 大阪大学文学部国文学研究室
- 大島悦子(2000)「曲亭馬琴の文字意識——自筆資料の仮名字体について——」『早稲田大学大学  
院教育学研究科紀要』第十号 早稲田大学大学院教育学研究科
- 木越 治(1992)「近世 文学作品における字母の用法について——「ますらを物語」・『おくのほそ  
道』・『教訓私儘育』の場合——」『国語文字史の研究』一 前田富祺・国語文字史研究会編 和泉書院
- 木越 治(1987)「富岡本『春雨物語』における仮名文字の用法について」『北陸古典研究』2号 北陸  
古典研究会
- 木越 治(1989)「上田秋成自筆本『春雨物語』における仮名字母の用法について」『金沢大学教養  
部論集 人文学科編』26巻2号 金沢大学教養部
- 久保田篤(1994,95)「仮名草子整版本における仮名の用法(上・下)」『茨城大学人文学部紀要(人文  
学科論集)』27・28号 茨城大学人文学部
- 久保田篤(1995)「草双紙の用字法——赤本の仮名字体の用法を中心に——」『国語学論集:築島  
裕博士古稀記念』築島裕博士古稀記念会編 汲古書院
- 久保田篤(1996)「恋川春町『無益委記』の表記——平仮名の字体について——」『茨城大学文学部  
紀要(人文学科論集)』29号 茨城大学人文学部
- 久保田篤(1997)「『浮世風呂』の平仮名の用字法」『成蹊国文』30号 成蹊大学文学部日本文学科  
成蹊大学文学部

- 久保田篤(1998)『『金々先生栄花夢』の文字の用法について』『東京大学国語研究室創設百周年記念国語研究論集』東京大学国語研究室創設百周年記念国語研究論集編集委員会編 汲古書院
- 久保田篤(2009)「江戸板本の表記の多様性—洒落本『傾城買二筋道』の場合—」『成蹊國文』第四十二号 成蹊大学文学部
- 窪田恵理子(2000)「与謝蕪村の仮名字体の用法——俳書と書簡を比較して——」『国語文字史の研究』五 前田富祺・国語文字史研究会編 和泉書院
- 高梨素子(2012)「変体仮名指導の仮題 (付)合字」『研究と資料 68 輯』
- 玉村禎郎(1994)『『春色梅兒譽』における仮名の用字法』『国語文字史の研究二』前田富祺・国語文字史研究会編 和泉書院
- 築島 裕(1981)『日本語の世界 5 仮名』中央公論社
- 野口義廣(1983)「浄瑠璃丸本における表記をめぐって—平仮名字体について—」『文献探究』12号
- 浜田啓介(1979)「板行の仮名字体——その収斂的傾向について」『国語学』第118号 国語学会
- 前田富祺(1971)「仮名文における文字使用について——変体仮名と漢字使用の実態——」『東北大学 教養部紀要』第14号 東北大学教養部
- 松下なるみ(1996)「平仮名の字体と字源」(『漢字百科大字典』) 明治書院
- 矢田 勉(2012)『国語文学・表記史の研究』汲古書院
- 矢野 準(1980)「大田南畝の文字意識—『向岡閒話』のかなの用字法を中心に—」『近代語研究第六集』近代語学会 武蔵野書院
- 矢野 準(1990)「一九の文字生活——蔦屋黄表紙五種の仮名表記の実態を中心に——」『近代語研究 第八集 吉田澄夫博士追悼論文集』近代語学会 武蔵野書院
- 矢野 準(1992)「一九自画作黄表紙の文字遣い：榎本版四種を中心に」『国語国文研究と教育 二十七号 熊本大学』
- 山田俊雄(1976)『日本語の歴史 別巻 言語史研究入門』平凡社
- 春日政治『仮名発達史の研究』(春日政治著作集1) 1982、勉誠社